


学会成果報告書

学会名	第 29 回日本サイコネフロロジー研究会		
大会長所属	医療法人社団 前田記念会 理事長／石神井公園じんクリニック 院長		
大会長氏名	前田 国見		
テーマ	最高のサイコを育む ー身近なサイコネフロロジーを感じようー		
開催日	2018 年 7 月 7 日（土）、8 日（日）	参加人数	592 名
場所	虎ノ門ヒルズフォーラム		
<p>学会サマリー</p> <p>第 29 回日本サイコネフロロジー研究会を 2018 年 7 月 7 日（土）、8 日（日）の 2 日間 虎ノ門ヒルズフォーラムで開催しました。</p> <p>「最高のサイコを育む ー身近なサイコネフロロジーを感じようー」というテーマのもと、特別企画と一般演題の 2 本柱で構成することにしました。</p> <p>1) 特別企画は、研究会発足後、約 30 年が経過し、本研究会の今後の方向性を内外に示すことが求められている状況下であることを念頭に置き、事前のプログラム委員会で詳細に検討し企画を立て、透析医療の現状に役立ちさらに、継続性のある企画（入門講座・腎不全医療に関わる多職種を学ぶなど）を意識して計画立案しました。</p> <p>さらに精神科医と腎不全医が同時に集いお互いの症例を通じて相互理解を深める機会となる場も準備しました。</p> <p>2) 一般演題は過去最高の演題数の応募（全国からポスター 18 題、口演 59 題と過去最多の 77 演題の応募がありました）があり、治療に携わるすべての医療スタッフ（透析医・移植医・精神科医・看護師・臨床心理士・薬剤師・医療ソーシャルワーカー）が現場で起こっている問題を提起、情報を共有し、問題解決に向けた総合討論が活発に行われました。</p> <p>参加者も過去最高数となり、非常に盛会となりました。</p>			